

1      4      番      通告6番 14番議員、鈴木武夫でございます。

私は最後の一般質問者であります。答弁をよろしく願います。

では、通告に従い、平成28年度の当初予算と主な施策について御質問いたします。また、石井議員と質問が重複しておりますが、よろしくお願いいたします。

平成28年度は町の第5次総合計画、おいきらめきプランの後期基本計画が始まります。また、大井町まち・ひと・しごと創生総合戦略の2年目に当たります。総合計画と地方版総合戦略との関係についてですが、町の総合戦略は将来にわたって、町が持続発展していくために必要な人口動向や、将来人口の推計を展望して、その実現に向けて5年間にわたり、実施する施策であります。

町の総合計画は総合戦略の基本目標と施策の基本的方向を包括して、総合計画の重点プランに位置づけることで、二つの計画の関係性が保たれます。このように平成28年度は、大変重要な年度と言えます。そこで、平成28年度の当初予算を編成するに当たり、次の7項目を御質問いたします。

1 項目目の御質問をいたします。町長の心機一転、町民のための町政の2年目に当たる平成28年度の重点事業は何なのかをお伺いいたします。

2 項目目は、平成28年度予算を編成するに当たり、平成28年度予算の税収の見込みは、平成27年度の歳入と比べて増えるのか減るのか、お伺いいたします。

3 項目目の御質問をいたします。いつの年度も補正予算で大幅な増収になります。地方交付税の平成28年度の見込み額をお伺いいたします。また、地方創生交付金の平成28年度の見込み額をお伺いいたします。

4 項目目は、町の発展に大事な重要事業であります次の二つの事業について御質問をいたします。都市計画道路、金子開成和田河原線は県とともに促進する事業であります。そこで県において予備設計がなされて、今後詳細設計、用地買収に移ると考えますが、平成28年度の取り組みをお伺いいたします。

次に、私たち議員には皆目進捗が見えなく、どこまで事業が進んでいるのかわからない大井中央土地区画整理事業の平成28年度の事業の取り組みをお伺いいたします。

5 項目目は、合計特殊出生率の御質問です。当町の平成25年の合計特殊出生率は0.97で、県下でも下のほうであります。まち・ひと・しごと創生総合戦略では、平成31年に1.18にする計画であります。そこで、平成28年の合計特殊出生率の目標値はどのくらいを考えているのかお伺いいたし

ます。

6 項目目の御質問をいたします。未病の拠点施設など、ブルックスの未病いやしの里センターの平成28年度の町の取り組みは何をするのかお伺いいたします。

7 項目目は、大井町の特産果実であるフェイジョアの平成28年度の取り組みをお伺いいたします。

以上、7 項目の御答弁をよろしくお願ひいたします。

町 長 通告 6 番 鈴木武夫議員の平成28年度当初予算と主な施策を問うという御質問の中で、7 点頂戴しているわけですが、石井議員の御質問と重複する点は議員がおっしゃるとおり、お許しを願いたいとお願ひをするところでございます。

まず、1点目の「平成28年度の重点事業は何か。」というようなことでございます。繰り返しとなるわけですが、現在、平成28年度予算編成は作業の途中にありまして、今後、私の町長査定において最終的な調整や取りまとめを行いますので、編成した予算の詳細についての説明等につきましましては、予算案を上程する3月定例議会とさせていただきますので、また、なにとぞ御理解を賜りたく、この場をかりましてお願ひをするものでございます。

そして、通告に対する回答でございますが、予算編成においても職員に指示をしました、大井中央土地区画整理事業や相和地域の活性化を初め、総合計画に掲げた施策や事業を確実に実施することはもちろん、未病いやしの里センターの誘致に伴う取り組みや町が抱えるさまざまな課題への対応が、平成28年度における重点事業と考えております。加えて、町制施行60周年記念事業、また、昨年の町長選挙におけるマニフェストへの取り組みについても、重点事業として取り組むべく、予算計上をさせていただきたいと、そんな考えでございます。

2 点目の御質問でございますが、「28年度の税収見込みは、27年度と比較してどうか。」という御質問でございますが、自主財源の根幹をなします、町税につきましましては、歳入全体の約55%を占めまして、特に経済状況の影響を受けやすい、個人・法人の町民税につきましましては、課税の的確な把握に努めているところでございます。税収の確保につきましましては、極めて重要であることから、あわせて納税意識の高揚と徴収体制の充実が必要ではなかろうかと考えております。

まず、町民税の個人分につきましましては、個人所得の伸びや納税義務者の増により、また固定資産税につきましましては、土地の下落分を加味しても家屋の新築等により増収等を見込んでおります。法人町民税につきましまして

は、国税である法人税の税率が25.5%から23.9%に引き下げられ、さらに地方税においても、新税率となるため減収にならざるを得ないというような見込みでございます。

その他、軽自動車税につきましては、自動車関連の税制改正に伴いまして、平成28年度より税額が引き上げられますので、増収を見込んでおるといようなことでございます。

また、たばこ税につきましては健康志向もあり、喫煙者は減少しているものの、本町におきましては、コンビニの店舗数が増えましたことから、3年連続で増加しておるといような状況でございます。来年度におきましても、若干ではありますが、増収を見込めるものじやなかろうかと考えておるところでございます。

なお、入湯税につきましては、いこいの村あしがらに直接確認はしておりませんが、特記要因もないことから、横ばい程度というような考えを持っておるところでございます。

このようなことから、町税6税目のうち最も大きく減額となる税目は、町民税の法人分ではなかろうかと。そんな中で27年度と比較しますと、町税全体では、約1.5%程度の減額になるのではなかろうかなというように見込みを立てておるところでございます。

3点目の「交付税と地方創生交付金」についてでございますが、地方交付税につきましては、先ほど石井議員からの質問でもお答えしました通りでございますが、地方公共団体の固有の財源である交付税は、毎年予算を編成する上で重要な財源の一つであるわけでございます。

また特別交付税においては、平成27年度では交付税総額の6%が交付されておりましたが、平成28年度では5%に縮小が予定されております。また、台風による堤防決壊や火山噴火等、全国で発生している災害による交付額に対する影響が後年度まで及ぶことも予想されます。特別大きな災害のない本町では、その交付額が減少するというような判断をしているところでございます。

いずれにいたしましても、特別交付税は普通交付税で捕捉されない個別・緊急の財政需要に対応するもので、その動向については正確に捕捉することが難しいものでございますが、引き続き情報収集に努めてまいりたいというように考えてございます。

また、地方創生交付金の平成28年度の見込みにつきましては、国において関連予算の要求作業が進んでいるところであり、現在のところ、自治体向けの地方創生の深化のための新型交付金として、1,080億円が概算要求されていると聞き及んでいるところでおるところでございます。

しかしながら、この交付金による事業費総額が2,160億円とされ、自治体には事業費の2分の1が交付される見込みとなっております。

また、どのような事業が交付金の対象になるのか、あるいは、交付の手続等に関して詳細な情報等についても、まだ聞き及んでいないため、今後、国の予算審議等を、町としても注視していかなければならないというような考えでございます。

4点目の「金子開成和田河原線と大井中央土地区画整理事業の平成28年度の取り組みを伺う。」との御質問でございますが、まず、金子開成和田河原線についてでございますが、平成27年度に神奈川県警と、大井小学校北側交差点から国道255号までの500メートルにつきまして、信号機や横断歩道の必要性、迂回道路の調整などの交通協議を行うとともに、御殿場線交差点についてJ R東海と工法等の協議を行っております。

また、今年度は足柄紫水大橋交差点から国道255号線交差点までについて、今後行われる交通協議や工事の検討に必要な詳細設計に取り組んでおります。

そして平成28年度の取り組みにでございますが、現時点では県の予算が確定していないため、予定の取り組みになりますが、平成27年度に引き続き、県警やJ R東海との協議が行こなわれる予定というようなことでございます。

あわせて御殿場線との交差点の構造変更に伴う都市計画変更を行い、その後、工事内容等の住民説明会を開催し、用地測量に着手する予定でございます。

この道路は町にとって、重要な東西軸の道路になりますので、今後も各種調整など、神奈川県と一体となり、また促進協もあわせた中で、早期実現に向けて事業推進を図ってまいりたいというような考えでございます。

大井中央土地区画整理事業につきましては、本年4月に事業認可を受け、5月に組合設立総会が開催されました。続いて、役場庁舎北側に組合事務所が建設され、7月に横浜地方法務局へ組合設立の届け出がなされ、事業が本格的にスタートしたところでございます。

平成27年度の事業内容につきましては、平成28年度以降に予定されている区画道路工事や造成工事等を行うための実施設計や立竹木等の補償調査を進めるとともに、主要施設である道路・上下水道・公園等の町関係課と調整を重ねながら、完成に向け鋭意努力作業中でございます。

今後は、来年度予定されている仮換地の指定に向け、換地設計の準備作業も進めております。

平成28年度につきましては、年度当初から換地設計を行い、仮換地の指

定に向け調整を進めていく予定となっておりますのでございます。

工事関係につきましては、地区外からの搬入土により、地区南側から造成工事に着手し、工作物等の移転をお願いするとともに、宅地の整地、区画道路及び調整池の整備を予定しているところであります。

年度末になりますと、周辺の景色が大分さま変わりし、事業の進捗を肌で感じることはなかろうかというようなことを今想定をしておるところでございます。

町といたしましても今後も組合に対し、本年度に引き続き助成金等により支援を行うとともに、関係各課の総力を結して区画整理事業の推進を図ってまいりたいと考えておるところでございます。機会がありましたら、また議会の皆さん方にも御理解をしていただけるように、新年度になりましたら組合側から、議会の皆様方に説明する場等を進捗状況とも説明させていただくような機会を設けることも必要ではなかろうかと思っておりますので、御理解を賜りたくお願いをするところでございます。

5点目の「平成28年度の合計特殊出生率の目標値を伺う。」との御質問でございますが、先般策定しました大井町人口ビジョンでは、直近の平成25年、26年の推計した平均合計特殊出生率1.08を2060年には2.07に向上させることを目標として、その間は直線的に回復することというような、こととしておるわけでございます。

その視点から見ますと、平成28年度における合計特殊出生率の目標は1.12となります。しかしながら、合計特殊出生率は年ごとの変動幅が大きく、時には、0.2程度の増減を示すこともあります。

そのため、各年の合計特殊出生率の目標値と結果を比較し、一喜一憂するのではなく、より中長期的な傾向や年齢別の出生動向といった趨勢を検証していくことが肝要であるというような認識を持っておるところでございます。

続いて、6点目の「未病いやしの里センター（仮称）」でございますが、平成28年度の町の取り組みについてでございますが、未病いやしの里センターに係る平成28年度の取り組みについては、事業推進において喫緊の課題となる、都市計画法上の用途地域変更手続を進めてまいります。

また、地域経済の活性化を促進するため、未病いやしの里センターと地元企業等のマッチングにより事業連携の促進を図るとともに、未病いやしの里センターの整備に向けたPR事業として、株式会社ブルックスホールディングスとの連携のもと、積極的に啓発イベント等を開催していく計画でございますし、これは大井町とだけでなくして、なるべく広いエリア、またいろんな大きな団体等も巻き込んだ中で、ぜひやっていきたい

というような考えでございます。ブルックスさんも秘めたものをお持ちでございますし、また町でもいろんな提案をさせていただいた中で、できれば当初予算で計上させていただけるものは計上させていただき、場合によっては補正対応もしていかなければならないかと思っておりますので、この辺のところは御理解を賜りたくお願いするところでございます。

そして、7点目の「平成28年度のフェイジョアの取り組み」についてでございますが、大変議会の皆さん方の御理解とまた御協力をいただき、取り組んだ事業でございます。

平成24年度の町内産農産物を使用した大井スウィーツセレクション開発事業において、フェイジョアを使用したことを契機に、フェイジョアの特産物化やその活用による活性化などに努めておるところでございます。

具体的には、町内におけるフェイジョアの生産量や需要を高めるため、国の交付金を活用してのフェイジョアの幼木の植栽、アイスクリームサーバーを四季の里直売所に設置し、フェイジョアのジャムをトッピングする形でのアイスクリーム販売、町商工振興会によるフェイジョアの成分分析やフェイジョアを使用したレシピの開発等の結果をまとめたチラシを全戸配布するとともに、四季の里直売所や役場窓口に置くなどを行っております。さらに、町外におけるイベントや職員みずからFMラジオに出演し紹介するなど、さまざまな機会を捉えましてPR活動を行っております。

また、大井スウィーツセレクション開発事業に参加した事業者を初め、その他の商工振興会員の中には、自主的にフェイジョアを使った新たなスウィーツを作り出し販売している方、デザートに使用する町外の飲食店なども出てきておるところでございます。

そして今年度においては、商工振興会によるフェイジョアアイスクリームの開発事業の開始、商工振興会や農協相和支店からの売り込みによる飲食店での利用の研究など、積極的な動きも見られます。

さて、28年度の取り組みでございますが、大井スウィーツセレクションにおきまして、引き続き販売や開発に取り組んでいくため、関係者と連携しフェイジョアの安定供給を図ってまいりたいというような考えでございます。

先ほど、フェイジョアアイスクリームについては、完成した場合にはさまざまな場所での販売が可能となることから、商工振興会と連携した町内の取扱店舗の確保や商品のPR等に努めてまいりたいと考えております。

そして、スイーツ以外での利用が徐々にあらわれていることから、これ

らの動きがさらに拡大するよう、農協や商工振興会など、多方面にわたって連携を図っていく必要があろうかと思います。さらに相和農業塾において、フェイジョアの栽培方法を確立するため、技術的な研究を行うなどの動きもあることから、財政的な支援を行うなど、生産者に対する支援も行っていきたいと思っています。

現段階では、フェイジョアの生産量は少なく、活性化などの効果はまだ不十分な結果になるわけですが、徐々にフェイジョアの利用例や興味を持つ事業者も増加していることから、今後はフェイジョアの需要が増加することも期待をしているところでございます。

よって、その生産量を増加させる必要があると考えておりますが、過去にフェイジョアを栽培し、またその栽培を諦めてしまったというような経験を持つ農業者が多く、生産を再開しようというような積極的な方は少ない状況にあるわけですが、いろんな関係者と協力して、図ってまいりたいと思いますし、過去には松田町内でもフェイジョアを栽培された方もありますもので、こちらの方からもフェイジョアの提供等を受け入れさせていただいて、さらに発展をさせてまいりたい。いい方向に努力をして進展をしているというような私は状況ではなかろうかなと思いますので、これからも力を入れてまいりたいと思いますので、御理解と御協力をお願いするところでございますが、何せフェイジョアが今まで生産技術が確立されていないということ。

また多品種によって、いろんな、大きいのから小さいのまでそれぞれあるようでございますもので、これから栽培の中でどういう品種を植えてもらっていくかというようなことも、暗中模索の中で取り組んでいるわけですが、いい方法を早く確立させて、できれば大井町だけでなく、この地域で連携してできるようなものにしていければいいのかなと、そんな考えを持っているところでございます。

これからも御理解と御協力をお願いし、答弁とさせていただきます。

1      4      番      今町長が答弁されまして、先ほど、ほかの方の答弁もいろいろ聞きました、予算編成の途中であるということ。それから来年度は予算編成ではやる気とかチャンレンジとかアグレッシブとかという言葉がきましたけれども、ちょっと前ですと、職員に強制する東芝のチャンレンジみたいにならないように、うまくやっていただくと大変ありがたいと思っています。

今答弁の中で一番時間を割いていただきました、フェイジョアについて先に再質問をさせていただきます。

自分が大事だと思っているほうから順番にいきたいと思います。

フェイジョアというのは本当、ここ10日くらい前に多分FMラジオで

宣伝されたというのを、ほかの方から聞きまして、PRしているんだという、自分で理解しています。私自身も本当にちょっと前ですけれども、小田原のほうのレストランで食事をしましたら、デザートでフェイジョアが出まして、そのままの半分のやつが出てきまして、それをスプーンで食べたら大変おいしかったという。近隣のところでもアイスクリームを売っているというようになっているんですけれども、今町長の答弁の中で、大井町の中のレストランとかそういうところでフェイジョアのデザートを使っているという所というのは、今現実にはあるんでしょうか。

地域振興課長 大井町の中でデザートとして提供している店ということですが、スイーツ関係ではございますが、デザートでは把握してございません。

以上です。

1 4 番 わかりました。大井町の中でそういうものを、スイーツもすごくいいと思うんですけど、私が思うにはスイーツを売ることがフェイジョアではなくて、フェイジョアのそのもの自体をいっぱいつくって、それをいかに売って、大井町の特産物にするかというところだと思うんですけれども。

この前、課長が全協の中で話をして、今つくっているのは5軒程度という話ですけれども、実際、今、何ていうのですか、ヘクタールとかそういう感じだと、大体どのくらいの面積に何本の木が植わっているのか、それでなおかつ、品種は主に、同じ品種だとなかなかかなりにくいというのはわかっていますので、主としている、町長も言われていましたけれども、大きくなったり小さくなったり、品種がいろいろありますね。大井町では特に何ていう品種に対して積極的に進めているんでしょうか。

地域振興課長 まず栽培の面積という御質問でございますが、面積というよりも、本数で回答させていただきたいと思います。5個人と相和農業塾のほうで約130本でございます。ちょっといろいろと調査を進めているんですけれども、中にはまだ実際には1・2本、個人で栽培していて、それが把握し切れていないというようなところもあるかと思います。とりあえず町が関係しているようなところでは、約130本ということでございます。

それから、種類でございますが、正直言いまして、過去に植えたものということで、品種までは実際ちょっと把握が仕切れていないと。生産者のほうでもよくわかっていないような状況がございます。ただ、相和農業塾が平成25年度に植栽したものにつきましては、5品種ですね。それを導入しまして、植えてございます。

では、どれがどの品種を推奨すべきかということに関しましては、先ほどの町長の答弁もございましたように、こちらの大井町において、どの種類がいいのかということにつきましては、今後見定めていきたいと思っ

ております。

以上です。

- 1 4 番 私は全然よくわからないんですけども、フェイジョアというのは。ただ、いろいろずっと品種がある中だと、町内のそういう売っている会社でもアポロとかという品種がなかなかいいんじゃないかとかと書いてあったんですけど、その辺もしっかりと調べないとまずいなと思うし。

今年度ですか、何本か植えたと言っていますけれども、大体実が生るのに5年くらいかかるとかということで、まだずっと先の話になってしまうので、長期的な展望になるかもしれませんが、大井町の特産物にするんだったら、もっと取り組みをしなきゃいけないと思うし、町長も先ほど答弁をされた財政負担をするということなので、私はスイーツをつくる人に財政負担というのは、また別問題であって、つくる方に、生産者に対する、要するに財政負担。

要するに、つくる方が少なくなったというのは、つくるのも大変だし、それから収益も上がらないというところだと思うんですけども、この二つが要するにフェイジョアというのは、なかなか自分で実が生らなくて、要するに人工授粉させないとだめだというようなものだと思うんです。手間暇かかるし。なおかつ、1個幾らで売っているかわかりませんが、それでも、それから売れるようにしないとなかなか特産物にならないと思うんですけども、生産者に対する財政負担と、それからつくる方の収支が合うようにするということは、要するに現在は収支があっているんですか。それとも合わないようなフェイジョアというのは、ものなんでしょうか。どうなのでしょう。

地域振興課長 フェイジョアにつきましては、みずから生産している農業者においても、まだ生産の技術が確立していないとか、わからないことが多いようでございます。それで、そういったことを農業者からも聞いておりますけれども、フェイジョアについて、いろいろ農業者と話をする中では、はっきり言いまして、非常に手間がかからないと聞いております。剪定とか、あと肥料とか、そういうことをされている方も、積極的にやられている方もいらっしゃるようですが、本当にただ植えっ放しという方もいらっしゃるようです。消毒もほとんどいらないなという方もいらっしゃいます。

ということで、過去に植えた費用につきましては置いておいて、日ごろの管理というのは非常にかかっているんじゃないかなと、経費的にもかかっているように感じております。

ということで、直売所とか、スイーツの原料として販売しておりますけ

れども、そちらにつきまして、500グラムで300円とかいう、大体その辺で販売しているようでございますが、大体収入は、販売益が現状においては全て収入になっているのかなというふうな感じをもってございます。

一応今後、そのような状況にございまして、あと先ほど今年植えたという話でございましたが、相和農業塾は平成25年度において、2年または3年物を植えてございます。今年においては、既に実はなっておりますが、御指摘のとおり非常に少ないということで、また20キロ程度ということでございます。ですから、来年、再来年ということになりますと、徐々にといいますか、かなり飛躍的に生産量が増えてくるのかなというふうな期待も持っているところでございます。

一応、とにかくフェイジョアに関しては、過去に非常に生産が大変であるからとかいうことで、それに伴って諦めたというわけではなくて、恐らく市場、または消費者のほうで受入れられなかった、買う人が少なかったということが主な原因ではないかと感じております。

では、現在において、またはそのような繰り返しになるのではないかなというふうな心配もあるわけでございますが、今現在フェイジョアを使ったスイーツにつきましては、飛躍的に伸びているわけではございませんけれども、非常に安定的に売れているという状況もございます。

また、今年度に入りまして、商工会とか、農協のほうも非常に積極的にPR、売り込みをしていただいているということもございまして、非常に関心を持つ業者も増えてございます。町長の答弁の中でもアイスクリームを新たに開発するということで、今試食をつくっているという状況でもございまして、いろいろとそういった動きが徐々に出てきているということで、過去の失敗といいますか、諦めた20・30年前のようでございますが、その時期の様子とは大分違うのかなと感じております。

町も商工会、農協と連携して、そういったいろいろな事業が実を結ぶようにしていったら、消費の需要が高まるように努力してまいりたいと、そのように思っております。

以上です。

- 1      4      番      町長の先ほど答弁、それから今の課長の答弁を聞きますと、先が相当明るいような話なんですね。このフェイジョアというのは、もともとはみかん畑の跡地に植えたということですが、今大井町もみかん畑が、要するにつくられなくなって、荒廃したみかんの跡地が相当あるということで、多分農業委員会でも大分問題になっているような話だと思うんですね。だったら、積極的にそういうところに、今の話だとうまくいくという話ですが、そのみかん畑の跡地にフェイジョアをどんどん植えて、たった100何

本だったのが、1,000本も1万本も植えるような、そういう計画をされたらどうですか。それで、大井町の特産物にするという、本当に町の方向性があれば、すばらしいものとなると思うんですけども、それは町長、どういうお考えでしょうか。

町 長 私の答弁も課長の答弁も、同様の答弁だったんじゃないかなと思うわけでございますけれども、ぜひそういうようにしていただきたいというような思いもございます。しかしながら、まだまだ栽培方法だとか、剪定をどうしたらいいかとかというようなものが、確立されていないというような状況です。この辺の研究をさらにしていくことが、28年度私は必要じゃないかなと思いますし、苗木を生産している会社がありますもので、そこあたりは、それなりのノウハウをお持ちじゃないかなと思いますし、そういうところに職員と生産者が行って、よく研究してくる必要があるんじゃないかなと。

過去に、30年ほど前に植えられたのは、ある肥料屋さんが、みかんの代替のものとして、薦められて、販売をされたと。今から何年前かな、十数年前だと思いますけれども、フェイジョアのワインをつくられたというようなことを耳にしたことがあるんですが、そのままフェイジョアを食べるとかなんとかという、そういうふうな、他への加工だとかというようなものが弱かった。いわゆる生産しても、いい販路が見出せなかったというところに問題があるんじゃないかなと。ある面で利用方法、また販路を少しずつ見出せておりますもので、その需用には応えて、そして利用者の皆さん方にそれなりに供給できるような、そして品質もいいものをできるように、そんな努力は町と生産者で一体となって進めていく必要があるんじゃないかなと。

そういう点では28年度は、その技術だとか、どんな品種を広げていったほうがいいのか、そんなことが主要の一つ、町側の課題の一つじゃないかなと思いますので、議員御指摘の点は重々我々も研究してまいりたいと考えております。

地域振興課長 補足をさせていただきたいと思います。

まず植えたかどうかという話でございます。たくさんのフェイジョアを今の時期に植えるということも、まず地域振興課としてもどんどんやりたいなとは思いますが、先ほどの答弁の中でもお話しましたが、過去にフェイジョアを多数植えて、結局諦めて伐採してしまったという方が今現在多数、まだと言っちゃいけませんが、農業に従事されているという状況でございます。

結局過去にも、先ほど申しました国の補助金を活用してフェイジョア

を植えないかということで、平成25年度にたくさんの農業者に話をした経緯もございます。したところ、過去の経緯で、そのような失敗の例というものがまだ非常に残っているようで、積極的に考える方は一人もいなかったということで、ゼロでございました。ということで、最終的には相和農業塾のほうでたくさん植えてもらったという経緯がございます。

そういった状況でございますので、まずは町が植えてくれといっても最終的には農業者の協力がないと増えないというのは、御理解いただけるかと思います。

ということで、そういった経験を持つ農業者を説得するためには、まずは現在の、今年度に入っているいろいろと事例が発生しております。それを実らせるということが重要であって、そうすれば需要が高まる、そうすれば農業者もこれは過去にはいろいろあったけれども、フェイジョアはいけるんじゃないかという気持ちになるかと思います。

そういったことを見定めた上で、町もさらに協力を求めると言いますか、または財政的な支援をして、その普及を図るとか、そういったことにもっていくべきであると思っております。

以上です。

1 4 番 ぜひとも大井町の特産物にしてもらいたいということと、加工しなくても、私は生で食べて相当おいしかったんですね。だから皆さん生で食べれば、全然すごくおいしいんですよ。キウイみたいにスプーンですくって。もうそれだけで十分だと思いますので、ぜひとも大井町の特産物にしてもらいたいと思います。

では、次の質問に移りたいと思います。

6 番の未病いやしの里センターの件ですけど、先ほど石井議員がいろいろ質問されましたので、私は細かいことには質問しません。町長は、事業には参画しないとかという話ですけども、大井町にとって未病いやしの里センターのというのは、大変重要な、今後の大井町の方向性を出す場所だと思うので、その中で未病いやしの里センターに対応する専門の課とか、室とかというのはつくるべきだと私は思うんですけども、その辺についてはどうなんでしょうか。

町 長 各方面から、今回の一般質問でいろんな課をつくれといわれるわけですが、先ほどの定住促進も含めた中で、そういうようなプロジェクト的なことを推進していく、まち・ひと・しごと総合戦略も含めた中で、推進するセッションをつくらなければならないのかなというような思いはしておるところでございますので、その辺の私自身の思いもありますもので、そういうような一つの大井町の総合戦略、または未病いやしの里

センターも当然総合戦略の一翼を担う重要なところでございますし、定住人口増、これらも含めた中で、なんらかの対応に当たるセクションをつくりたいと考えておりますもので、またそこに対しまして、人員配置等も含めた中で検討させていただき、また皆さん方の前で組織等、お示しさせていただきたいと思いますので、御理解を賜りたく、お願いするところでございます。

1 4 番 わかりました、よろしくお願いします。

それでは、次に5番の合計特殊出生率について、再質問いたします。

まず最初に、私は町長には反省をしてもらいたいと思っているんです。それは間宮町長が町長になった平成10年というか、あのころ平成11年には、要するに合計特殊出生率が1.72で県下でトップか2位かという。ところが今は0.97で33自治体の中で30番目ということで、半分になったんですね。ということは、言い方を変えれば、失礼かもしれませんが、人口を増やすということに対する施策がうまくいかなかったんじゃないかなと思うんですけれども。それを鑑みてこれから頑張るんですけれども、それについてはどうお考えでしょうか。

町 長 確かに平成11年も含めまして15年くらいまでは特殊出生率が県下で1・2位を示して、平成15年でしたか、17年度でしたか、毎日が出してるあれで、一番足柄上郡について、住みよい町というような批評もいただいたことがあります。それにうぬぼれることなく、町政を執行してきたと私自身は思っております。

しかしながら、時代の背景、また企業の再編を見ていると、そんな大きな波を受けたことが、一つの一因かなというようなことを思っておるところでございますが、また未病いやしの里センターというようなものが誘致できました。これは32年までの間で事業をしていくわけでございますが、その後、ぜひ過去のような潤いのある、また特殊出生率も上がるようなまちづくりをしてまいりたいと。そのきっかけをつくるのが、私のこの任期でやる仕事の一つじゃなかろうかというような思いでございますので、また施策に対しても、御理解、御協力をお願いするところでございます。

1 4 番 よろしくお願いします。

先ほど町長とか課長からの答弁の中で、地方版の総合戦略について、人口の取り合いとかいう言葉がありましたけど、基本的には総合戦略というのは、要するに東京圏から2020までに、5年間で地方に30万人の若者の雇用、それから東京圏から地方へ6万人行くという、逆に東京圏へ4万人行かないように少なくさせるとか、それが基本になっているので、自治体間

の取り合いというよりも、東京圏からこちらに呼び込むというのが基本だと思うんですね。

それとプラス地元の人の、何ていいますか合計特殊出生率を上げるという。その中で、企画財政課長にお伺いするんですけど、総合計画でも、それから総合戦略でも、先ほど結婚支援という話があって、具体的な話がないという。もう一番それがまず取りかからなきゃいけない問題だと思いますね。先ほど出た婚活という話ですね。山北だとラブコンとかという言葉でやって、もう実績も出ているということで。町長の話の中でも商工会でもちゃんと実績が出ているという。今無理だったら、平成28年から取りかかるべきだと思います。今平成28年度予算を皆さん編成している最中ですから、これは絶対やるべきだと思うんですけども、それを何かあやふやにしているんですか。私は絶対やるべきだと思うんですね。平成28年度は。その辺いかがでしょうか。

企画財政課長 先ほども私も申し上げましたけれども、個人的にも婚活という事業は進めていくべきかなと考えてございます。

内容としては、近隣市町村がやっているものと似たような形になるのかなと思っています。今現在、予算の町長査定の前でございますので、それについて具体的な言及はできないといったような状況で、28年度からできればやりたいなと考えてございます。

以上です。

1 4 番 もうぜひともすぐに来年度お願いします。

そうしますと、結婚支援があるとその次は今度は子育て支援となると思うんですけども、前回一般質問のほうでは私が言いましたが、育児に対する補助金ということで、要するに子どもを産んだ赤ちゃんを持っている親とその赤ちゃんが一つのホテルみたいに入って、別々に、そこに何ていうの、専門の人が面倒を見て、要するにお母さんを育児から1泊とか、2泊離れていただいて、精神的なダメージを少なくするというような、そういうことを聞いたんですけども、近隣の市に、もう来年3月にできるということで、近隣の市ではそれに対して補助金も出ると聞いております。大井町はそういうことは考えてはいないんでしょうか。改めてお伺いします。課長に。

子育て健康課長 産後のデイサービスというか、そこで子育てから解放されると、お母さんが。というような話でございますが、その辺も子育て事業の推進として、一つ参考に、前向きにまたその辺も、当然財政等の話もございますが、その辺は参考にさせて検討していきたいと思っております。

以上です。

1 4 番 ぜひとも検討をよろしくお願いします。

そうしますと、その後に、育児の後に今度は保育とか幼稚園とかという話があります。先ほどから質問の中で母子家庭という話がありますけれども、母子家庭が大井町は相当増えていると思うんですね。そういう方々の子どもたちを預かる場所というのは、すごく、要するに制度を超えてと言いますか、今まで、今、認定子ども園というのがありますけれども、それがいいのかどうかという、私もわかりません。ただ、保育園とか幼稚園とかというあれに入る、規準がありますね。そういうのを超えて、そういう大井町は母子家庭が増えているんですから、そういう子どもを預かる施設というのを、改めて考えていったほうがいいと思うんですね。そういうことが大井町が住みやすくなるんじゃないかと思うんですけれども、それに対するお考えはどうでしょうか。

町 長 当然、そういうようなことをしていかなければならないわけでございますし、まずは保育、幼稚園教育、その辺の壁もだんだんと低く、私はしていかなければならないんじゃないかなと思いますし、特に学童保育と言いますか、児童コミュニティを、6年生までやるというようなものが喫緊の私は課題の一つじゃないかなと思います。

また、どうやって子どもたちをすこやかに育てるというようなことも課題じゃないかなと思います。児童数、定員数も減りつつありますもので、そういう施設を使った中で、とりあえずは幼稚園においては、預かり保育だとかというようなものを充実させていき、また児童コミュニティも充実させていくというようなことの中で、やらなければならないんじゃないかなと考えております。

母子家庭だけでなくして、女性が社会へもっと出ていかなければ、この労働力不足を解決でき得ないというような状況というのがありますもので、将来に向けてはそういうことが大変重要な課題になってくるんじゃないかなと考えております。

1 4 番 ぜひとも、子どもを産んで育てる人の本当に生活しやすい町にするように、これからいろいろ総合計画、後期の基本計画もできましたし、総合戦略もありますから、よろしくお願いします。

次に、4番目の金子開成和田河原線と大井中央土地区画整理事業の取り組みということで。要するにこの二つは大井町の核となる場所です。要するに昔核付、どうのこうのと、この辺にありました。要するに大井町の役場を中心とした核付が今進んでおります。今みたいに北のところそういう区画整理ができて、その後に向こうに道ができるというような話の中で、この辺が一つの、すごくいい都市づくりにしなければいけないと

思うんですね。その中で、もう一遍それに関係することですけれども、今湘光中学校から、湘光園に向かって、道がありますけれども、あれが私道だということで、核づくりに近い、ああいう場所が私道というのはおかしいと思います。それを何とかするという考えは町のほうにはないでしょうか。

町 長 この件は長い間の懸案事項でありますし、そのような中では、町もこの整備をしていく必要があるんじゃないかなと思います。第一生命さんの再編移転の中では町も協力しましたし、過去の誘致においても町が協力してきたというような経緯の中で今日まできております。

そのような中で、新しい事業所ができたわけですが、第一生命保険会社との関係というのは、だんだん私は薄らいでいってしまうのじゃないかなというように思うわけであります。

そして、あの道路の件につきましては、町ももう数年前から道路は解決しなきゃならないんじゃないかなという話を先方にさせていただいております。そのような中で、先方としては自分のところの利用も大分変わってきたと。そういうような中では、現状のままで町に引き取ってほしいというようなことをございます。しかしながら、町の規定では整備をして引き取らせていただきたい。

そんなことの中で、今までも協議というか、そんな話をたびたび、内々でさせていただいていた経緯がございました。そして新しい事業所ができて、上大井小学校が道路が一応私道でありますけれども、抜けたというような経緯がございまして、町としては住民生活上、この道路は町に譲渡移管をしてもらわなければならないんじゃないかなというように思いで、協議に入っている。しかしながら、先方さんでは、道路と湘光中学校前から旧湘光園の入り口までの間、新たに舗装等をし直す考えはないというようなことをございます。町としましては、この辺のところは苦慮しておるところをございます。しかしながら、あそこの直線道路の西側が今宅地開発をされております。120区画くらいできるんじゃないかなかと。

そういうような想定の中で、第一生命さんとしても、いろんなものを今まで売却してきていらっしゃいます。まだ社宅の一部も残っておりますけれども、あそこにある公園も何らかの形で町のものにしなければならぬんじゃないかなかと。できることだったら、寄附でというようなことで、長年水面下でも話してきたわけですが、なかなか株式会社化した中で、株主への説明責任もあるというようなことで、無償では難しいというようなことをございます。

それでは、道路を引き受ける、改修分も含めた中で、いろんな協議をさせていただけないかというようなことを、今申し上げておるところでございますし、また住宅開発に用地を入札で販売された金額等も町は掌握しておりますもので、できればその数字くらいのもものでは、買うことができないかというような交渉をさせていただいております。

私はできることであれば、早い段階で、そういうものを解決しておくことが、将来の大井町のためになるんじゃないかなと考えております。また、そういう交渉がさらに進めば、議会の皆さん方に御報告をさせていただき、また予算計上等もさせていただきたいと考えておりますもので、またその節は御協力、御理解のほど、よろしく願いますところでございます。

- 1      4      番      大井町はなかなか都市整備とか、それから町道の整備というのは、なかなか、いいところはいいけど、何か狭いところは狭いし、できるときにやっておかないと、せっかく北側からこれがきれいに区画整理されているんですが、南側に住んでいる方もあそこがずっと、できれば今町長が言われたように、上大井小学校も、あそこが町道になれば、非常に利便性もできますので、ぜひとも前向きに検討していってもらいたいと思います。

最後の質問に移りたいと思います。

ふるさと納税について。先ほど来年度取り組むというような話でしたが、ふるさと納税というのは返礼品にかかってくるんですね。ホームページを見て、返礼品の一覧表が出ていて、それを見て何か納税するというような人が結構いるという話で、本当に近隣の市でも今までピーナツとか、そういう地元の名産品だったら、全然ふるさと納税がなくて、地元の有名な旅館の1泊2食の宿泊券を出した途端に、補正予算で6倍になったという。大体500万円の予定が今年度3,000万円を超えとかというような話になっているんですね。大井町にも大井町に関係する宿泊所がありますから、その宿泊券をふるさと納税の返礼品に加えたらいいいと思うんですけども、その辺のお考えはどうでしょうか。

- 企画財政課長      ふるさと納税につきましては、先ほども答弁させていただいたところでございますけれども、さまざまな返礼品を今準備段階に入っているところでございます、その中の一つに宿泊施設等のところも交渉を進めているという状況でございます。早い段階で考えている返礼品は幾つかありますけれども、当初は大井町に深いかわりがあるものを返礼品とさせていただきまして、今後につきましては、随時ふやしていくことも可能ですし、来年度は町制施行60周年に当たりますので、その機会に大きく返礼品を考え直したいと、加えたいと考えているところでございます。

以上です。